

## 他人が苦しんでいるのを、『神様』にお願いする場合

『神様』、お願いが御座います。

〇〇が△△で苦しんでおります。

5 〇〇に障っている方を、『神様』のお力で、きっぱりと、そちらの世界にお連れ下さいませ。

そして、この方々を、ご指導下さる方を、お使わし下さいまして、改めて、幽界での修行の方法を、詳しくご指導下さいませ。

10 そして、1日も早く、天国にお許し下さいまして、『神様』の御心みこころに適かなった、神の子として、『神様』のご用に、沢山にお使い戴ける、清く高き幸せな魂に、お許し下さいますよう、謹みて、お願い申し上げます。

誠に、有り難う御座います。

15

### 解説

祈るコツは、助けて戴いたのちに、『神様』の御用にお使い下さい！と祈ることです。このように、“『神様』の御用”という内容が一緒になっていることが、『神様』に通じる祈りとして重要になります。

20 霊障が比較的軽い場合には上記の祈りで有効ですが、命にかかわる程の重病や怪我の場合には、『78P』の祈りと同時に憑霊ひょうれいの救われを願う‘喜捨’をしましょう。

★ 更に効果的な祈り方は、この方を『神』のお役に立てるように早く気付かせてあげて下さいと祈りましょう。

25

自分の子孫が苦しんでいたり、または自分が立ち上げた教団の信者が困っていたりする場合に、助けを求めて憑霊ひょうれいがすがって来た場合の対処法

30 私わたしに助けを求めて憑もついている方へ申し上げます。

貴方あなたがご自分ご自分の子孫しそんの救われを願ねがって、私わたしに憑もついているのなら、それは違ちがうんですよ。

もし、此方こちらから貴方あなたの子孫しそんに対して、直接働きかけたとしても、貴方あなたの子孫しそんは、私の言うことを絶対ぜったいに聞き入れないでしょうね。

35 本当に貴方あなた自身が、ご自分ご自分の子孫しそんを救すくいたいのであれば、その子孫しそんの方、或いはその方の身近みぢかな人ひとを介かして、私わたしに働きかけて下さい。

貴方あなたには、私わたしに障さわるだけの霊力れいりよくがあるのですから、今、私わたしが申し上げた仕組みしくみを起こすことが、出来るでしょう。

88頁の“子孫のぞの前世のぞを覗いてご覧なさい”と言い、『子孫がそうならなければならない罪つみを作っている事』を知って貰もらうことも有効です。

40

自分が救われたくて憑もついてくる方は簡単に諭さとせますが、自分の大事な人を助けて欲しいとすがってくる場合には強く障さわってくるので、憑もつかれた人はとても辛くるくなります。

45 ※ 現在は、子孫を救って欲しい憑霊用のお守りを頒布しています。